

第41回 東海北陸ブロックスキー技術選手権大会
および
全日本スキー技術選手権大会代表選手選考会 開催要項

- 【会 期】 平成30年 2月 2日(金) ～ 2月 4日(日)
【会 場】 福井和泉スキー場 (福井県大野市朝日前坂 27 TEL 0779-78-2711)
【主 催】 公益財団法人全日本スキー連盟 東海北陸ブロック評議員会
【主 管】 福井県スキー連盟
【協 力】 福井和泉リゾート株式会社
【目 的】

当ブロック加盟団体から選抜された選手によってスキー技術を競い合い、成績優秀者を表彰し、加盟団体相互の親睦と技術レベルの向上及び選手の資質を向上させる。また、全日本スキー技術選手権大会へブロック選出の選手を選考する。

- 【大会本部】 福井和泉スキー場内 無料休憩所
【本部宿舎】 ホテルフレアール和泉 (福井県大野市下山 63-2-24 TEL 0779-78-2536)
【開会式・閉会式会場】 九頭竜道の駅ふれあい会館 (福井県大野市朝日町 26-30-1)
【大会役員】

- 大会長 面手 一史 (東海北陸ブロック評議会会長)
大会委員長 中村 重夫 (福井県スキー連盟副会長)
大会委員 兼 代表選手選考委員会委員 (東海北陸ブロックスキー専門委員)
佐藤 二郎、梶田 洋象、戸澤 隆幸、稲垣 朋宏、鈴木 章功、
中 勢蔵、前田 淳志、雨塚 豊治
主管県連代表 長谷部 誠 (福井県スキー連盟教育本部長)
総務主任 岩岡 貴央 (福井県スキー連盟)

【競技役員】

- 技術代表 雨塚 豊治 (兼 代表選手選考委員会委員長)
競技委員長 梶田 洋象
セクレタリー 辻 宏泰
審判長 前田 淳志
審判 (A 班) 梶田洋象 (愛知) 金森宏之 (富山) 戸澤隆幸 (岐阜) 水谷隆彦 (三重) 武本秀教 (福井)
(B 班) 前田淳志 (石川) 熊崎昭良 (岐阜) 稲垣朋宏 (三重) 鈴木章功 (静岡) 石原清史 (愛知)
コース責任者 (A 班) 梶田 洋象 (B 班) 前田 淳志
コース係長 (A 班) 福井県連 (B 班) 福井県連
ゴール審判 (A 班) 審判員兼務 (B 班) 審判員兼務
記録係長 (A 班) 福井県連 (B 班) 福井県連
記録係 (A 班) 福井県連 (B 班) 福井県連
スタート審判 (A 班) 福井県連 (B 班) 福井県連
スタート係 (A 班) 福井県連 (B 班) 福井県連
計算 平内 勝彦、大谷 久直
現地総務 加藤 嘉一、山口 和男
前者者 武田力 (ナショナルデモンストレーター)、中村浩章 (神奈川県) 他

【大会日程】

2月2日（金）	10:00～	福井県連役員集合	スキー場内無料休憩所
	13:00～	県外役員集合	スキー場内無料休憩所
	15:30～	選手受付（各県連毎）	ふれあい会館
	16:00～	開会式	ふれあい会館
		TCミーティング（開会式に引き続き行います）	
2月3日（土）	9:00～	競技開始	
2月4日（日）	9:00～	競技開始	
	14:00～	代表選手選考会議	ふれあい会館
	15:00～	閉会式	ふれあい会館

※スキー場とふれあい会館の距離は約8km（車で約15分）です。九頭竜道の駅の駐車場をお使いください。

【競技種目】

2月3日（土） 2種目同時開催

大回り	中急斜面（ナチュラル）	パウダーエリア	（A 審判）
フリー（規制）	中斜面（ナチュラル）	パラダイスB下部	（B 審判）
＜小休憩＞			
フリー	中急斜面（ナチュラル）	パウダーエリア	（A 審判）
小回り（規制）	中斜面（ナチュラル）	パラダイスB下部	（B 審判）

※ 前半2種目終了後、小休憩（トイレ等）を挟んで後半の種目を開始します。昼食時間は設けませんのでスムーズな競技進行にご協力ください。

2月4日（日） 2種目同時開催

小回り	中急斜面（ナチュラル）	パウダーエリア	（A 審判）
小回り	中急斜面（不整地）	パウダーエリア	（B 審判）

※ 小回り（規制）は、リズム、ラインの変化を含む演技をすること

※ フリー（規制）は、小回り用のスキーを使用すること

（2本使用の場合、短い方の板を使用すること）

※ 今年度は団体演技を中止します。

※ リザーブバーンとしてパノラマAまたはパノラマBを予定しています。

【競技方法】

1. 全日本スキー技術選手権大会競技規則に準ずる。
2. 審判方法は5審3採用方式による公開表示とする。
3. 各選手、使用スキー板は2本までとする。
4. 個人戦の総得点と同じ場合、5審5採用方式での総得点が多い者を上位とする。また、それと同じ場合、「フリー」の得点が多いものを上位とする。
5. 団体戦の順位は各県男子上位5名、女子3名の個人総得点の合計点にて順位を決定する。（8人の合計点と同じ場合、各県で採用された点数の内、個人総得点8番目の選手の総得点が高い方を上位とする）
6. 競技種目および種目数、コート、日程等については、天候や会場の事情により変更する場合があります。

【出場資格】

1. SAJ バッジテスト1級以上を有し、満18歳以上であり加盟団体長の推薦を得た者。
2. SAJ 安全会及びスポーツ障害保険及びこれに準ずる障害保険及び賠償保険に加入済みの者。

【各県連出場枠】

各県連加盟団体長の推薦を得た者で男子15名以上、女子5名以上とし、出場枠の上限は設けない。

【表彰】

1. 男子総合成績6位まで表彰し、3位までメダルを授与する。
2. 女子総合成績3位まで表彰し、メダルを授与する。
3. 団体戦3位まで表彰する。(各県男子上位5名、女子3名の合計得点)

【全日本スキー技術選手権大会、ブロック枠選手選考について】

1. 各県連選考の代表選手を除く、東海北陸ブロック出場枠10名の選手を代表選手選考委員会にて決定する。なお、代表選手選考委員会は代表選手選考委員および審判員で構成する。
2. 男子は各県連代表選手を除く、成績上位7名とし、各県毎に1名選出する。なお、各県の申し出により、各県の男子枠を女子に割り当てても良い。
3. 女子は各県連代表選手を除く、成績上位順で3名を選出する。
4. 詳細はTCミーティングで周知する。

【その他】

1. 応急処置については現場にて応急手当のみ行い、その他の責任は負わない。
2. 競技種目および日程等については、天候や会場の事情により変更する場合があります。
3. 公式掲示は大会本部前とする。なお、各県連に対しメール等での配信も予定しているが、詳細はTCミーティングで周知する。